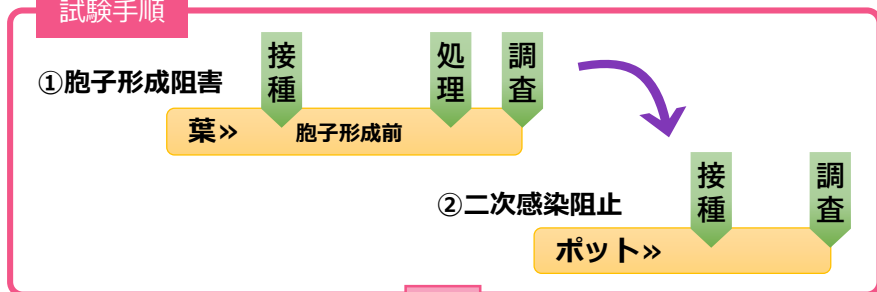


作物名	トマト（世界一）
病害	疫病
希釈倍率	ランマンフロアブル 1000倍（散布水量：100ℓ/10a）
試験方法	<p>①孢子形成阻害 トマトポット（6葉期程度）から葉を採取し、葉裏を上にしてバットに並べ、遊走子の懸濁液（5×10^4個/ml, 30ml/苗箱）を噴霧接種。湿室に48時間静置した後、葉液をスプレーガンにて葉表・葉裏に散布した。葉裏を上にしてバットに移し、20℃湿室に静置した。</p> <p>②二次感染阻止 上記で得られた遊走子の懸濁液を、健全なトマト苗に噴霧接種した【二次接種】。湿室に18時間静置した後、20℃育苗室（蛍光灯下）で生育した。二次接種4日後に葉位ごとに発病指数を調査し、常法にて発病度、防除価を求めた。</p>

試験手順



～二次感染阻止～トマト疫病二次接種 4日後の様子



ランマンフロアブル 1000倍



無処理区

【試験結果】

供試薬剤		① 孢子形成阻害	② 二次感染阻止	
		孢子形成阻害率 (%)	発病度	防除価
ランマンフロアブル	1000倍	100	0	100
	2000倍	100	0	100
対照A剤		92	4	96
対照B剤		17	100	0
対照C剤		38	100	0
無処理区		—	100	—

ランマンフロアブルは、孢子形成阻害効果と孢子感染阻害効果が非常に高く、あらゆる発病ステージで性能を発揮して**二次感染を阻止すること**が示された。

殺菌剤

ランマンフロアブル

農林水産省登録第20624号 有効成分…シアソファミド…9・4% (w/w)

(Ishihara Bioscience Japan = 石原バイオサイエンスの略)

IBJ 防除情報

令和2年 6月25日発行

第108号

ランマンフロアブルを散布することでトマトにおいて疫病の蔓延を防ぐことを示す社内試験の結果をご紹介します。



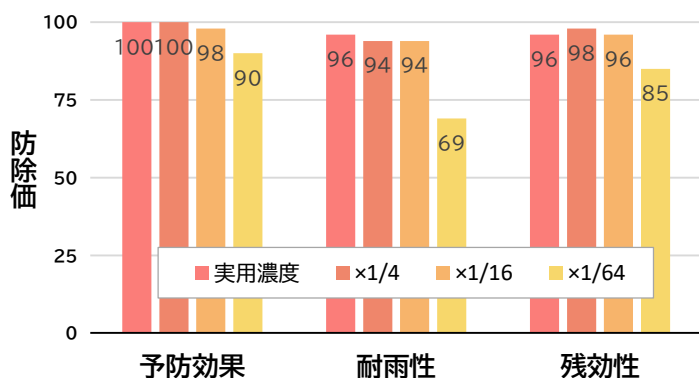
センチユウ検定サービス実施中！

弊社では、圃場の土壌をご送付頂き、その土壌中のセンチユウ数を測定し、防除計画のご参考にして頂くセンチユウ検定を無料で実施しております。詳しくは弊社担当者へお問合わせください。

【試験事例②】 石原産業（株）社内試験（2017年）

作物名	トマト（世界一）		
病害	疫病	区制	Φ7.5cmポット、2連制
散布水量	ランマンフロアブル1000倍（散布水量100ℓ/10a）を实用濃度として1/4,1/16,1/64濃度		
試験方法	予防効果	トマトポットに薬液をスプレーガンで散布した。風乾後、遊走子のう懸濁液（ 1×10^4 個/ml、30ml/苗箱）をスプレーガンにて噴霧接種した。接種箱に20時間静置した後、20℃育苗室で生育した。	
	耐雨性	トマトポットに薬液をスプレーガンで散布した。風乾後、人工降雨装置で降雨処理した（20mm/h、2h）。風乾後、遊走子のう懸濁液（ 1×10^4 個/ml、30ml/苗箱）をスプレーガンにて噴霧接種した。接種箱に20時間静置した後、20℃育苗室で生育した。	
	残効性	トマトポットに薬液をスプレーガンで散布した（散布水量100ℓ/10a）。温室にて育苗し、処理7日後に遊走子のう懸濁液（ 1×10^4 個/ml、30ml/苗箱）をスプレーガンにて噴霧接種した。育苗箱に20時間静置した後、20℃育苗室で生育した。	
調査方法	接種4～5日後に葉位ごとに疫病指数を調査した。		

【試験結果】

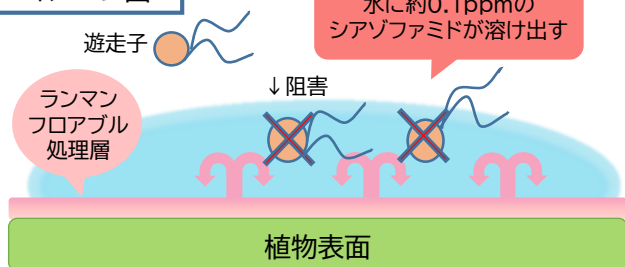


ランマンフロアブルは予防効果、耐雨性、残効性の低下幅が小さく、实用濃度（1000倍）から1/16の薬量までは十分な防除効果を維持した。

環境要因による影響が非常に少なく安定している！

また、前述の通りランマンフロアブルは予防効果主体の薬剤ですが、先の試験事例①で紹介したように胞子（遊走子）のう形成阻害作用に優れ、次世代の菌密度を効率的に抑えることから未感染葉（上位葉）への病害進展も防ぎ、予防効果を超えた優れた防除効果を示します。こうした特長を生かして、べと・疫病等の卵菌類病害とあぶらな科作物の根こぼ病に対する薬剤として幅広い分野でご利用いただいております。

イメージ図



ランマンフロアブルは、残効が長く、作物・生育ステージによっては10〜14日間隔の散布も可能です。今回はなぜ本剤の残効性や耐雨性が優れているのかを考察します。

ランマンフロアブルは疫病菌のほぼすべての生育ステージを阻害することで安定した防除効果を発揮します。社内試験では有効成分のシアゾファミド0.1ppmで遊走子のうの発芽、遊走子の遊泳、被のう胞子の発芽を9割以上阻害しました。ランマンフロアブルの实用最低濃度は2000倍で50ppmであることから低濃度でも効果を発揮することがわかります。また、ランマンフロアブルは水溶解度0.12ppmです。ランマンフロアブルを葉面全体に散布した後は、雨や朝露にシアゾファミドが溶出し、処理層を再構築することで疫病菌から葉面を保護し、結果的に耐雨性や残効性に優れるのではないかと考察しています。

知って得する?! コラム

ISK 石原バイオサイエンス株式会社 本社 普及部

〒102-0071 東京都千代田区富士見2-10-2
TEL 03-6256-9170 FAX 03-3263-2078

ホームページ アドレス <http://ibj.iskweb.co.jp>

